

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年9月4日 (2008.9.4)

【公開番号】特開2002-196967(P2002-196967A)
 【公開日】平成14年7月12日 (2002.7.12)
 【出願番号】特願2001-222246(P2001-222246)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/00 5 4 6 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月23日 (2008.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも 1 つの H T M L データオブジェクトに関連付けられた基礎となるデータソースをアプリケーションプログラムへインポートするための代替ソースファイルに対して、前記アプリケーションプログラムをリダイレクトし、前記少なくとも 1 つの H T M L データオブジェクトをインポートすることを実行するための、コンピュータシステム内に実装された H T M L ファイル形式であって、
H T M L タグと、

複数の H T M L データオブジェクトタグであって、ソースウェブサイトによって提供されるようにウェブページに表示される H T M L データオブジェクトに各 H T M L データオブジェクトタグが関連付けられている複数の H T M L データオブジェクトタグと、

前記ウェブページの H T M L ファイル内の前記複数の H T M L データオブジェクトタグのうち少なくとも 1 つに関連付けられたリダイレクト属性であって、ここで、前記ウェブページは、前記ソースウェブサイトによって提供されるように前記リダイレクト属性を含み、ここで、前記リダイレクト属性は、前記ソースウェブサイトを介してアクセス可能であり、前記少なくとも 1 つの H T M L データオブジェクトに関連付けられた前記基礎となるデータソースが格納された前記代替ソースファイルを示す、リダイレクト属性と、

前記少なくとも 1 つの H T M L データオブジェクトに関連付けられたリダイレクトフラグであって、ここで、前記リダイレクトフラグが使用不可でないとき、前記アプリケーションプログラムは前記リダイレクト属性によりリダイレクトされ、インポートのための前記少なくとも 1 つの H T M L データオブジェクトの前記ウェブページを介した選択に対して前記基礎となるデータソースを前記代替ソースファイルから抽出し、ここで、前記リダイレクトフラグが使用不可であるとき、前記 H T M L データオブジェクトは前記ウェブページから前記アプリケーションプログラムへインポートされる、リダイレクトフラグと
を有することを特徴とする H T M L ファイル形式。

【請求項 2】 前記リダイレクト属性は、前記基礎となるデータソースが格納されている位置を示す接続文字列を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の H T M L ファイル形式。

【請求項 3】 前記接続文字列は、ユニフォームリソースロケータ (U R L) を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の H T M L ファイル形式。

【請求項 4】 ソースウェブサイトによって提供されるようにウェブページ中表示される複数の H T M L データオブジェクトに関連付けられた基礎となるデータソースを抽

出するために、アプリケーションプログラムを代替ソースファイルにリダイレクトする方法であって、前記HTMLデータオブジェクトは、HTML形式で格納され、前記方法は

複数のデータオブジェクトのうち少なくとも1つを選択するユーザコマンドを受信し、ウェブページからアプリケーションプログラムにインポートするステップと、

選択されたHTMLデータオブジェクトに関連付けられたHTMLデータオブジェクトタグを受信するステップと、

前記HTMLデータオブジェクトタグがリダイレクト属性を含むかどうかを判定するステップであって、前記リダイレクト属性は、前記選択されたデータオブジェクトに関連付けられた基礎となるデータソースが格納される代替ソースファイルを識別する接続文字列を含む、ステップと、

前記HTMLデータオブジェクトタグがリダイレクト属性を含む場合、前記選択されたデータオブジェクトに関連付けられたリダイレクトフラグが使用不可であるか否かを判定するステップと、

前記リダイレクトフラグが使用不可でない場合、

前記リダイレクト属性から前記接続文字列を抽出することと、

前記接続文字列によって識別される前記代替ソースファイルを開くことと、

前記基礎となるデータソースを抽出することと、

前記基礎となるデータソースを前記アプリケーションプログラムにインポートすることを含むシーケンスを実行し、

前記HTMLデータオブジェクトタグがリダイレクト属性を含まず、かつ、前記リダイレクトフラグが使用不可である場合、前記HTMLデータオブジェクトを前記ウェブページから前記アプリケーションプログラムにインポートするステップと
を有することを特徴とする方法。

【請求項5】 前記HTMLデータオブジェクトは、本質的にTABLE、PRE、XMP、LISTINGおよびPLAINTEXTからなるリストから選択されることを特徴とする請求項4に記載の方法。

【請求項6】 前記接続文字列は、ユニフォームリソースロケータ(URL)を含むことを特徴とする請求項4に記載の方法。

【請求項7】 前記基礎となるデータソースは、前記少なくとも1つのHTMLデータオブジェクトのデータタイプを定義する基礎となるデータを有し、前記代替ソースファイルは、前記ウェブページから別々に格納された電子ファイルを有することを特徴とする請求項1に記載のHTMLファイル形式。

【請求項8】 前記リダイレクト属性は、前記少なくとも1つのHTMLデータオブジェクトタグ内に置かれ、それによって前記少なくとも1つのHTMLデータオブジェクトタグは、前記少なくとも1つのHTMLデータオブジェクトタグが代替位置に格納された基礎となるデータに関連付けたことを示すことを特徴とする請求項1に記載のHTMLファイル形式。

【請求項9】 前記HTMLタグは、ネームスペース宣言を含むことを特徴とする請求項1に記載のHTMLファイル形式。

【請求項10】 前記接続文字列は、前記基礎となるデータソースが格納された前記位置の少なくとも1つのアドレス及び前記基礎となるデータソースをどのように抽出するかの情報を含むデータ文字列を有することを特徴とする請求項2に記載のHTMLファイル形式。

【請求項11】 前記代替ソースファイルは、

リモートサーバ上に格納された電子ファイル、

前記コンピュータシステムのローカルハードドライブ上に格納された電子ファイル

のうち1つを有することを特徴とする請求項1に記載のHTMLファイル形式。

【請求項12】 前記基礎となるデータソースは、リッチテキスト形式で格納された基礎となるデータを有することを特徴とする請求項1に記載のHTMLファイル形式。

【請求項 13】 前記リッチテキスト形式は、XMLを有することを特徴とする請求項 12 に記載の HTML ファイル形式。

【請求項 14】 前記基礎となるデータソースは、前記 HTML データオブジェクトのデータタイプを定義する基礎となるデータを有することを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 15】 前記基礎となるデータは、リッチテキスト形式で格納されていることを特徴とする請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】 前記ソースウェブサイトによって提供されたように前記ウェブページはリダイレクト属性を含むことを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 17】 請求項 4 に記載の方法を実施するためのコンピュータ実行可能命令を有するコンピュータ読取り可能媒体。

【請求項 18】 代替位置に格納され、HTML 文書に表示される HTML データオブジェクトに関連付けられた、基礎となるデータを抽出するために、コンピュータシステム上で実行するアプリケーションプログラムを代替位置へリダイレクトするための方法であって、ソースウェブサイトによって提供されるように前記 HTML 文書はリダイレクト属性を含み、前記方法は、

前記アプリケーションプログラムへ前記 HTML 文書からインポートするために前記ソースウェブサイトによって提供されるように前記 HTML データオブジェクトを選択するコマンドを受信するステップであって、前記 HTML データオブジェクトは前記 HTML データオブジェクトに関連付けられた基礎となるデータを排除する HTML 形式に格納される、ステップと、

前記コマンドの受信に応じて、前記選択された HTML データオブジェクトに関連付けられた HTML データオブジェクトタグを抽出するステップと、

前記 HTML データオブジェクトタグが前記リダイレクト属性を含むかどうかを判定するステップであって、前記リダイレクト属性は、

前記選択されたデータオブジェクトに関連付けられた基礎となるデータが格納される代替位置を識別するデータ文字列を含む、ステップと、

前記リダイレクト属性を含む前記 HTML データオブジェクトタグに応じて、前記選択された HTML データオブジェクトに関連付けられたリダイレクトフラグが使用不可であるか否かを判定するステップと、

前記リダイレクトフラグが使用不可でない場合、

前記アプリケーションプログラムを前記リダイレクト属性で識別された前記代替位置へリダイレクトすること、

前記基礎となるデータを前記代替位置から抽出して前記基礎となるデータを前記アプリケーションプログラムへインポートするステップであって、ここで、前記基礎となるデータは前記 HTML データオブジェクトの元のデータタイプを定義し、それによって前記アプリケーションプログラムは前記 HTML データオブジェクトのデータセマンティクスを正確に解釈できる、ステップと

を含むシーケンスを実行するステップと

を有することを特徴とする方法。

【請求項 19】 前記シーケンスは、前記アプリケーションプログラムのエンドユーザにとって透過的であり、それによって、前記基礎となるデータは前記代替位置ではなく前記 HTML 文書から抽出されたように見えることを特徴とする請求項 18 に記載の方法